

# 災害医療論

ナンバリング:N3-S2-J09

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、救急・災害医学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

## ・学修方針(講義概要等)

災害の定義、種類とその特徴、災害急性期から慢性期における災害医療の課題・問題点、傷病者・被災者への支援制度・システムを学ぶ。その中で具体的に看護の役割を理解する。災害対応するための医療知識とともに、災害医療チームの一員として活動できる基本的な知識を修得し、災害時における多機関連携・調整の重要性を学ぶ。

## ・教育成果(アウトカム)

災害医療の原則や概念、そして過去から現在の災害時の医療活動を学ぶことで、多職種・多機関と連携し、看護師として災害時(急性期から慢性期まで)に適切な活動ができるようになる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティーにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。
9	変動する国際社会にあつて、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

## ・到達目標(SBO)

1. 地域防災計画や支援体制について学び、災害時の医療救護活動の基本であるCSCATTTや、医療チームと看護の役割について説明することができる。
2. 被災状況や放射線災害が及ぼす健康影響について把握する方法を学び、国際的な視点をもちながら被災地域の人々、多職種との連携・協働による看護の必要性や方法を述べることができる。
3. トリアージ演習や避難所における支援活動の机上訓練を実施することで、要配慮者、避難行動要支援者への対応を修得できる。
4. 被災した医療機関や避難所における支援活動の机上訓練を実施することで、災害看護活動の場における生活への援助、身体的・精神的健康管理方法を修得できる。
5. 被災した医療機関やがれきの下における机上訓練を実施することで、二次災害の発生と危険や、災害周期の変化に対応しながら多職種、地域の人々との連携・協働の上、安全なケア環境提供を継続する必要性を説明することができる。

## ・授業日程

### 【講義】

会場：マルチメディア教室、災害時地域医療支援教育センター

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
6/5 (金) 4限	<p>【授業内容】災害医学総論/危機管理とは、災害関連法、防災とSDGs、CSCATTT、災害時の情報について説明できる</p> <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修:60分】「災害医療論を選択した理由と履修にあたっての抱負」についてまとめ提出する(詳細はWebClassで指示、6月1日9時までにWebClassへ提出①)</p> <p>【事後学修:120分】災害における危機管理、防災とSDGs、災害時の情報について復習する</p>	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授

6/9 (火) 3限	<p>【授業内容】災害医学各論①/過去の災害時の医療活動について説明できる・超急性期から静穏期の看護について説明できる</p> <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修:60分】過去の災害における医療活動について事前に調べる、超急性期から静穏期の看護について「災害ケア論」の講義資料をもとに復習する</p> <p>【事後学修:120分】災害の超急性期から静穏期の医療活動について復習する</p>	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授
6/16 (火) 4限	<p>【授業内容】災害医学各論②/避難所での活動を説明できる・特殊災害について説明できる</p> <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修:60分】避難所での活動について「災害ケア論」の講義資料をもとに復習する、特殊災害について事前に調べる(詳細はWebClassで指示、6月15日9時までにWebClassへ提出②)</p> <p>【事後学修:120分】避難所での活動、各特殊災害の特徴と対応について復習する</p>	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授
6/19 (金) 4限	<p>【授業内容】災害医学各論③/国際救援活動と、医療者に必要な視点を学ぶ</p> <p>【関連するSBO】2</p> <p>【事前学修:60分】国際救援活動について事前に調べる</p> <p>【事後学修:120分】国際救援活動と、医療者に必要な視点について復習する</p>	救急・災害医学講座 藤原 弘之 助教
6/26 (金) 3限	<p>【授業内容】(実習/ロールプレイ)トリアージ/トリアージの方法を理解し、実施できる</p> <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修:60分】WebClassにアップされた資料を参考にして、スタートトリアージのフローチャートを作成する(6月26日3限に持参し実習で使用する:提出③)</p> <p>【事後学修:120分】トリアージの方法について実習した内容を復習する</p>	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師 畑中 るり子 助教
6/26 (金) 4限	<p>【授業内容】(実習/ロールプレイ)情報通信・情報解析/災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得できる・収集した情報を分析し、災害の全体像を把握できる</p> <p>【関連するSBO】2</p> <p>【事前学修:60分】災害時における情報通信手段、広域災害救急医療情報システム(EMIS)について事前に調べる</p> <p>【事後学修:120分】災害時における情報通信・情報解析について実習した内容を復習する</p>	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
7/3 (金) 3限	<p>【授業内容】(机上訓練/協働型ケーススタディ)受援/被災した医療機関における受援を理解し、適切に対応することができる</p> <p>【関連するSBO】4、5</p> <p>【事前学修:60分】過去の災害で支援や救援を受けた医療機関での出来事について、事前に調べる(詳細はWebClassで指示、7月2日9時までにWebClassへ提出④)</p> <p>【事後学修:120分】机上訓練(受援)で実施した内容を復習する</p>	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
7/3 (金) 4限	<p>【授業内容】(机上訓練/シミュレーション)がれきの下の医療/がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる</p> <p>【関連するSBO】5</p> <p>【事前学修:60分】スタートトリアージについて復習し、フローチャートを見ずにトリアージができるように準備する</p> <p>【事後学修:420分】CSMについて実習した内容及び全8回分の授業の内容を復習する</p>	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師

・教科書・参考書等

教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	DMAT標準テキスト 改訂第2版	日本集団災害医学会DMAT テキスト改訂版編集委員会 編集	へるす出版	2015

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験60%、事前課題の提出20%、実習および机上訓練の参加態度や成果物評価(評価の視点は授業内で説明)20%

【形成的評価】Google フォームを用いた講義毎の振り返りシートで理解度を確認する

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～9	1～5		60	20	10	10		100
合計		0	60	20	10	10	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

講義毎の振り返りシートにおける質問に対し、次の授業または WebClassにてフィードバックする。  
提出課題はWebClassで課題、書式、提出期限等を確認して、WebClassへ提出する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3): 専門分野 看護の統合と実践

【ICT の活用】

講義資料は WebClass で配信する。提出課題の提示、提出は WebClass で行う。  
講義毎の振り返りにGoogle Formsを使用する。

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

統括DMAT・災害医療コーディネーターとして災害現場での実務経験を有する教員、日本DMAT業務調整員、日本災害医学会認定薬剤師として災害現場での実務経験を有する教員、業務調整員として国際緊急援助隊医療チームでの実務経験を有する教員、日本DMAT看護師として災害現場での実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義用資料投影
実習	トリアージ・タッグ	100	トリアージ実施演習
実習	レサシアントレーニングシステム	10	トリアージ実施演習